

活動実績報告書

平成 29 年 12 月 25 日

登録番号 20170882

氏 名 山下 誠吾郎

1. 活動状況

平成 25 年 4 月 ~ 平成 29 年 12 月

(記載事項)

・ 活動の概要

“水源涵養機能の維持増進に貢献したい”といった地域ニーズに応えるため、阿蘇外輪山の西麓に「熊本市水道の森」を設定する契約を熊本市上下水道局と締結した。(西原村のグリーンロード南阿蘇道路沿いの大野国有林で面積約 3ha、樹齢 50 年のスギ・ヒノキ約 2,200 本の林分)

・ 当該活動を挙げた理由

阿蘇外輪山の西側から連なる熊本地域は、熊本市を含む11市町村があり、約100万人の人々が暮らしているが、この地域の水道水源は、ほぼ地下水で賄われている。

中でも人口約74万人の熊本市は全てを地下水で賄っており、これは人口50万人以上の都市としては日本唯一、世界でも稀少な都市となっている。

そのため、この地域で地下水を守り伝えていくことは不可欠である。

本取組みは、熊本市の水瓶である阿蘇山麓の国有林に「熊本市水道の森」を設定することで、地下水涵養域の森林保全や林業体験活動を通じて健全な水の循環の重要性等について、広く普及啓発を行うことを目的としたものである。

・ 当該活動における、あなたの立場と役割

熊本市上下水道局は熊本市民 74 万人の水道水源である地下水を守り伝えるため、これまで、様々な活動が既に行われており、平成25年の3月には「国連生命の水最優秀賞」を受賞するなど、世界でもその活動は高く評価されていた。

この受賞から間もなくして、これまでの活動の一環を継続・充実させたいといった意向から、「法人の森林」の設定の申出があったものである。

この取組みは、このような地域ニーズに応えるための林野庁のツールの一つである「法人の森林」制度を活用したものであることから、九州森林管理局の担当係長の立場として、熊本市上下水道局の意向や設定趣旨を踏まえた場所の選定、面積規模等の構想を作成提案し、構想の実現(一定時点の到達点を契約締結とした)に至るまでの合意形成を図る役割を担った。

・ 活動上発生した問題点と課題及びそれへの具体的対応策

「法人の森林」には、①育成過程の当初の植林段階から始まるものと、②育成過程の中途の育林段階から始まるものがあり、今回は結果として②による契約を行ったが、本取組みの一つに林業体験による普及啓発活動を掲げていたことから、本来、植林段階から始まる①の方がより活動範囲が広がったはずである。しかし、労働者・技術者・資金の不足等による今後の保育等に対する先方の不安を払拭するような、例えば、他地域の優良事例等の説明が、十分ではなかったのではないかと、といった自己反省点が挙げられる。

今後は、これらの反省等を踏まえ、さらに自己研鑽に努めていく所存である。

・ 活動による成果で残された課題及び今後の改善方策

(1) 今後は利用計画にも謳った、林業体験活動や各種イベントの場として契約地が利用され、地下水涵養域の森林保全や健全な水の循環の重要性、さらには、森林の持つ諸機能を広く普及啓発を行うといった目的が果たされることで、スパイラルアップが生まれ、「水」を媒体とした上流域(山村地域)と下流域(受益都市)の、より大きなWIN-WINの関係が構築されるものと期待される。

(2) また、林野庁では、「法人の森林」契約による環境評価を行い、水源涵養便益等の貢献度について、契約いただいた熊本市上下水道局等に通知していることから、これを元にした法人による社会貢献活動が自社PRされることで、さらなる波及効果が期待できる。

最後に、今後行われる、森林の持つ諸機能の重要性等を普及啓発することを目的とした林業体験等のイベントには、熊本市民等の参加が見込まれるが、私自身も周囲を巻き込みながら積極的に参加する等、様々なシーンで関わりを持ちたいと考えている。

そのため、情報収集能力を高める等、森林総合監理士として地域を牽引できる存在となれるよう、日々、自己研鑽に努めたい。

注1:1. 活動状況については、直近の過去5年間に、森林総合監理士としての活動に関連していると考えられる、又は森林総合監理士として取り組んだ具体的な活動内容を記載してください。

登録番号20170882 氏名 山下 誠吾郎

2. 研修の受講状況

研修名：業務（森林活用）研修 平成 25 年 3 月
(実施主体)林野庁

研修名：労働安全衛生特別教育研修 平成 29 年 6 月
(実施主体)林野庁

3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況

平成27年度 九州森林管理局業務研修(森林の育成(労働安全))の講師として参加

平成29年度 CS立体図を使用した地形判読及び路網検討会に参加

平成29年度 九州フォレスター等協議会主催のフォレスター等活動推進会議に参加

注2:2. 研修の受講状況、及び3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況については、直近の過去5年間に取り組んだ具体的な内容と時期を記載してください。

注3:活動実績報告書は、A4で全2枚としてください。

注4:この活動実績報告書は、このままPDF化して林野庁ホームページに掲載しますので、見やすさ読みやすさ、個人の特定等、公開に差し障りのある表現にもご配慮ください。